

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種 目	学年
106-203	高等学校	外国語	英語コミュニケーション I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
231・い い ず な	C I 231-901	New Rays English Communication I Revised Edition		

1. 編修の基本方針

この教科書を通して、多文化共生時代を生きるために求められる生徒一人ひとりの「たくましさ」と「しなやかさ」を育てることを編修の基本方針としました。

たくましさ：自分で考え、判断し、行動する力（自己表現力）

しなやかさ：異なるものと向き合い、協働を通してさまざまな問題を乗り越える力（対話力）

本教科書では、①「知識・技能」②「思考力・判断力・表現力」③「主体的かつ対話的に学習に取り組む態度」の3つの観点を通して、「たくましさ」と「しなやかさ」という2つの資質を育てることができるよう工夫しました。

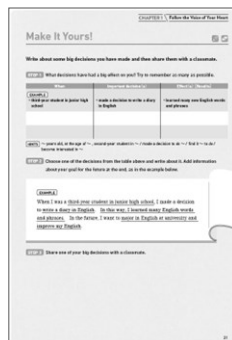
①「知識・技能」の観点（第1号）

- ・英語表現するための語彙力、文法力、慣用表現力を育てる。
- ・英語の言語資源を使って、さまざまなタスクを行う力を育てる。
- ・英語でのアウトプット（スピーキングとライティング）とインプット（リスニングとリーディング）のためのスキルを鍛える。

→本文で学習した内容や文法を使って、各課末のさまざまな表現活動を行います。**Vocabulary Networking** では、本文に出た語句とその関連表現を整理し、TASKを通して身につけることができます。



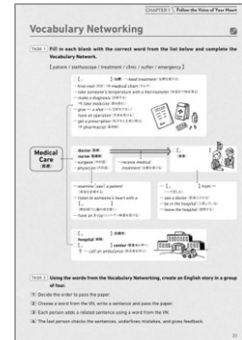
Recap & Retell
(内容理解)



Make It Yours!
(発信活動)



Grammar for Communication
(文法)

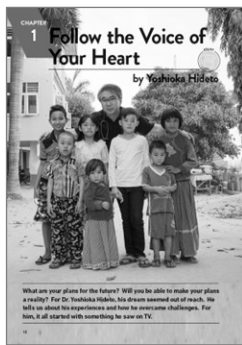


Vocabulary Networking
(語彙)

②「思考力・判断力・表現力」の観点（第4号、第5号）

- ・問題を把握し、「何ができ」「何をすべきか」を構想する状況把握力を育てる。
- ・物事を論理的に思考する力を育てる。
- ・現象を分析し、傾向性や因果関係などを見抜く分析力を育てる。
- ・大きな問題の中から本質的なリサーチ・クエスチョンを引き出す問題発見力を育てる。
- ・英語での事物描写、比較記述、物語展開、会話管理などを通して、自己表現力・対話力を育てる。

→CHAPTER 導入ページに英文の形式を表すアイコンと導入文を入れました。本文で何をとらえるべきかを理解したうえで英文を読むことができます。また、本文下にある **Comprehension Check** の質問に答えることで、話の展開や問題をとらえ、自己表現力を育てることを目指します。



アイコン

導入文

CHAPTER 導入ページ



Comprehension Check 質問

本文ページ

③「主体的かつ対話的に学習に取り組む態度」の観点（第2号、第3号）

- ・「なすべきこと」について行動計画を立て、それを実行する力を育てる。
- ・他者との協働を通して新たな可能性を創り出す共創力を育てる。

→本文下にある **THINK PAIR SHARE** マークの発信 QUESTIONS の活動をペアまたはグループで行うことで、他者と話し合っ
て答えを導き出す実行力を養います。また、**Make It Yours!**では他者と協働して行う活動を取り入れました。



本文ページ

発信 QUESTIONS
THINK : 1人で考える
PAIR : 2人で話す
SHARE : 複数で話す



Make It Yours!

Make It Yours!の活動例
 ・スピーチ
 ・プレゼンテーション
 ・翻訳
 ・ポスター作成
 ・アクトアウト
 ・旅程表の作成

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
CHAPTER 1 Follow the Voice of Your Heart 吉岡秀氏が医師になることを決めたきっかけと、彼が ミャンマーなどの途上国で行っている活動について知 る。	吉岡氏のこれまでの生き方や活動から得た「自分の心の声を聞く こと」「本当の失敗は行動をしないこと」などのメッセージを読 むことで、これから始まる高校生活や将来について考える。(第 1号、第2号)	pp.10-23
CHAPTER 2 The Power of Design 「デザインの力」展のツアーガイドの話を聞き、身の回 りのもののデザインが私たちの生活にさまざまな影響 を与えていることを知る。	デザインが人間の行動に影響を与えること、デザインを通して社 会を変えることなどを具体的な例を通して理解することにより、 主体的に社会の形成に参画する態度を養う。(第3号)	pp.24-37
CHAPTER 3 A Cool Food: Kakigori インターネット記事、プレゼンテーション、対話からマ レーシアと日本のかき氷の共通点と相違点を知り、さら に両者を比較したプレゼンテーション原稿を読む。	身近な食べ物であるかき氷を通して、2つの国の食文化の豊かさ を知る。また、さまざまな情報をまとめたプレゼンテーション原 稿を読むことで、身に付けた知識を他者に伝える方法を学ぶ。(第 3号、第5号)	pp.38-51

CHAPTER 4 OriHime — A Vehicle of Your Heart 吉藤健太郎氏がオリヒメと呼ばれるロボットを開発した理由と、オリヒメによってどのような未来を思い描いているのかを知る。	病気や障害によって社会参加ができない人々を、テクノロジーを使って手助けする吉藤氏の取り組みを読むことで、自らも社会に貢献する態度を養う。(第3号)	pp.52-67
CHAPTER 5 Satoko and Nada 「サトコとナダ」の英訳された漫画と、作者のインタビューを読むことで、漫画に込められた作者の思いを読み取る。	漫画の登場人物である日本人のサトコとサウジアラビア人のナダの交流を通して、異文化交流に必要なことや多様性の重要性を学ぶ。(第5号)	pp.68-83
CHAPTER 6 A Sea of Plastic 私たちにとって身近で便利なプラスチックが生態系にどのような影響を与えているかを紹介する雑誌記事を読む。	私たちにとって身近なプラスチックの歴史と、どのように環境や生態系に影響を与えているかを知り、問題解決のために私たちは何ができるかを考える。(第4号)	pp.84-97
CHAPTER 7 Human Habitation on Mars 宇宙に関するインターネット記事を読み、なぜ人々は火星を目指すのか、そして宇宙開発による恩恵は何かを知る。	これまでの人類の宇宙進出の歴史と、それによって得られた技術や知識が私たちの生活や環境に役立っているという事実を知り、人類の英知と地球の大切さに気づく。(第4号)	pp.98-111
CHAPTER 8 A Loving Story アメリカに住む若いカップルのリチャードとミルドレッドに起きた事件を通して、1960年代のアメリカが抱えていた問題を知る。	ラヴィング夫妻がさまざまな困難を乗り越えて、異人種間の結婚に道を開いたという事実を知ること、だれにとっても平等な社会について考える。(第3号)	pp.112-125
CHAPTER 9 Edo, the Resilient City 江戸が度重なる火災から何度も復興し、発展したのはなぜか。図版を多く取り入れたプレゼンテーションからその理由を探る。	江戸が度重なる火災から復興できたのは市民の消防組織や相互扶助が一因であったことを知り、現代を生きる私たちはそこから何を学ぶことができるかを考える。(第5号)	pp.126-141
CHAPTER 10 A Quality Education for All 永遠瑠まりルイズ氏へのインタビューを通して、ルワンダが抱える問題と教育の大切さを知る。	私たちが当たり前だと思っている学校教育を受けられない子どもたちが世界にはたくさんいることを知る。また、日本の学校のよさを再認識し、学校生活を重んじる態度を養う。(第2号)	pp.142-155
READING PASSAGE 1 The Window 同じ病室に入院している患者2人の交流を読む。	一人の患者がもう一人の体が動かせない患者のためにしたことを知り、他者を思いやる態度を養う。(第3号)	pp.156-161
READING PASSAGE 2 Gender Equality Is Everyone's Concern エマ・ワトソン氏が国連本部で行ったスピーチを読む。	ジェンダー平等の実現に向けてどのような課題があるのかを知り、エマ・ワトソン氏が私たちに訴えていることを理解する。(第1号、第3号)	pp.162-169

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

① 高校での英語学習のサポート

- ・小学校・中学校との接続を円滑にするために、文構造・文法事項については中学校までに学習したものについても取り上げました。
- ・本文横の新語のうち、ぜひ覚えておきたい重要なものを太字にし、チェックマークを付けました。また、イディオムの例文を巻末の **Idiom Sentences** に掲載しました。
- ・正課に入る前に、「英語の学習法」「文法力の身につけ方」「語彙力の身につけ方」「慣用表現力の身につけ方」のコーナーを設けました。高校での英語学習のポイントを紹介し、活動を通して定着を図ります。
- ・巻末に **Skills for Sound Production [Reading Comprehension, Writing, Listening Comprehension, Speaking]** のコーナーを設けました。活動を通して各スキルの定着を図ります。

② 主体的な学びのための工夫

- ・新語・イディオムと本文の音声を教科書の二次元コードを通して利用できるようにしました。教科書の音声をいつでも聞くことができます。
- ・題材の関連動画についても教科書の二次元コードを通して見ることができます。題材で取り上げた人物のインタビューなどを見ることで、本文をより深く理解することができます。
- ・ **FYI** (For Your Information) のコーナーで、題材の背景知識や発展情報などを解説し、主体的に学ぶ一助になるよう工夫しました。
- ・巻末に **Expressions for Communication** のコーナーにペアまたはグループワーク等で必要な表現をまとめ、活用できるようにしました。

③ 題材の選定

- ・題材の選定にあたっては、性別や人種、特定の世界観や宗教に偏らないように努めました。また、生き方、科学技術、環境、人権・愛、災害、教育など、さまざまな分野から選び、学習者の興味・関心を広げることができるように配慮しました。
- ・題材の形式については、エッセイ、説明文、対話文、プレゼンテーション、物語文、スピーチ、漫画などを取り入れ、さまざまな形式の英文に触れることができるようにしました。さらに説明文は博物館ガイドの説明、雑誌記事、新聞記事、インターネット記事などの具体的な場面を設定し、オーセンティックな英文になるよう心がけました。

④ 環境への配慮

- ・管理された森林資源を使用するなど、再生可能で環境にやさしい原料や製法で作られた用紙を使用しています。
- ・植物由来の油、およびそれらを主体とした廃食用油等をリサイクルした再生油を含んだ植物油インキを使用しています。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時間数表)

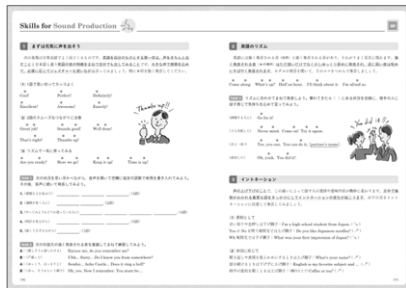
受理番号	学校	教科	種目	学年
106-203	高等学校	外国語	英語コミュニケーションⅠ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
231・いいずな	C I 231-901	New Rays English Communication I Revised Edition		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

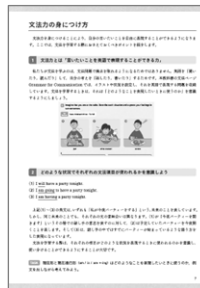
①高等学校外国語科の目標を実現するための工夫

- (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。(知識及び技能)

- ⇒「外国語の音声の理解を深める」ために、**Skills for Sound Production** のコーナーを設けました。また、「語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深める」ために、**文法力〔語彙力、慣用表現力〕の身につけ方**のコーナーを設けました。



Skills for Sound Production



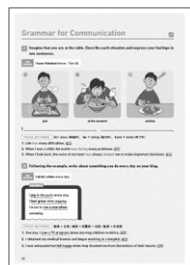
文法力〔語彙力、慣用表現力〕の身につけ方



- ⇒「目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける」ために、**Make It Yours!** と **Grammar for Communication** のコーナーを設けました。**Make It Yours!**では本文で学んだことを使って、スピーチ、プレゼンテーションなどの活動を行います。**Grammar for Communication**では文法項目を使って、状況にふさわしい英文を完成させます。



Make It Yours!



Grammar for Communication

- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。(思考力、判断力、表現力等)

- ⇒「コミュニケーションを行う目的や場面、状況など」を実現するため、対話形式の課を多く取り入れたほか、説明文にも具体的な場面を設定しました。また、話題については、日常的、社会的なものを幅広く扱い、学習者の興味・関心を広げるように工夫しました。

目次ページ

形式：エッセイ、説明文（博物館ガイドの説明、雑誌記事、新聞記事、インターネット）、対話文、物語文、プレゼンテーション、スピーチ
 話題：生き方、デザイン、食文化、科学技術、異文化理解、環境、宇宙、人権・愛、災害、教育、友情、ジェンダー

- ⇒「情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりする」ために、本文下に **Comprehension Check** と **THINK-PAIR-SHARE** の質問を設けました。また、本文後の **Recap & Retell** のコーナーでは、本文の内容をまとめたうえで、自分の言葉で伝える活動を行います。



本文ページ



Recap & Retell

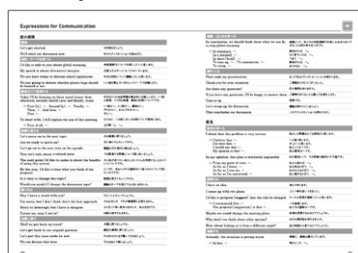
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

- ⇒二次元コードを通して、教科書本文と新語・イディオムの音声を聞くことができます。また、「外国語の背景にある文化に対する理解を深め」るために、**FYI** (For Your Information)のコーナーで背景知識や発展情報などを取り上げました。



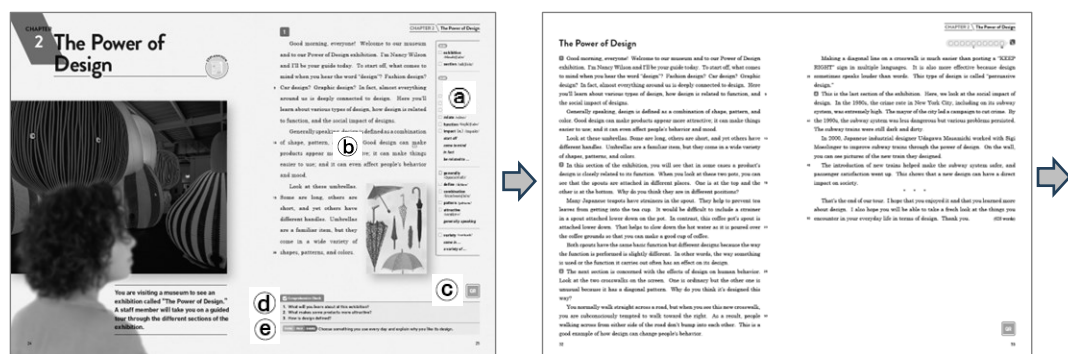
FYI(For Your Information)

- ⇒「聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う」ために、実際のコミュニケーションで役立つ表現集 **Expressions for Communication** を巻末に収録しました。



Expressions for Communication

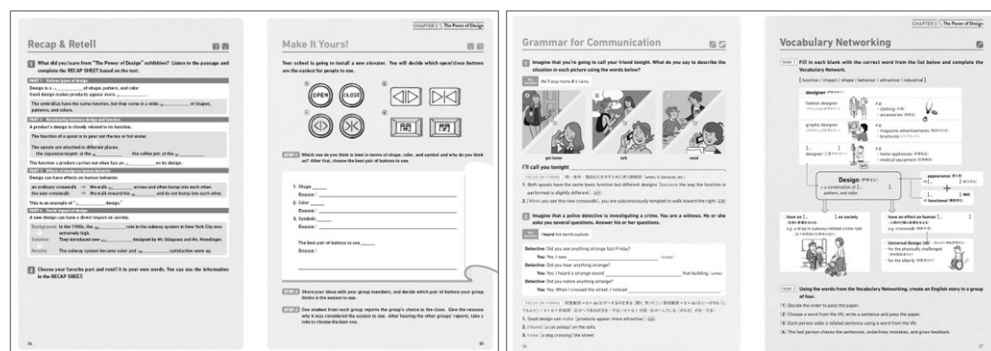
② 各 CHAPTER の構成



① CHAPTER 導入ページ

② 本文ページ

③ 通読用英文



④ Recap & Retell (内容理解)

⑤ Make It Yours! (表現活動)

⑥ Grammar for Communication (文法)

⑦ Vocabulary Networking (語彙)

① CHAPTER 導入ページ	写真と導入文からどのような内容が想像してから本文を読みます。また、英文の形式をアイコンで示しました。	
② 本文ページ	a 側注	段落ごとに新語、イディオムの順で掲載しました。ぜひ覚えておきたい重要な語は太字にし、チェックボックスを付けました。また、品詞によって発音が異なる語(こは(v)などの品詞)を示しました。
	b 本文	パートごとに掲載しました。文法ページで例文として取り上げている該当箇所には G1 G2 のマークを入れました。
	c 二次元コード	新語・イディオムと本文の音声聞くことができます。一部、関連動画も収録しました。
	d 内容理解問題 Comprehension Check	各パートに2~3問の質問を設けました。本文の内容や展開をとらえているかどうかを確認します。
	e 発信問題 THINK-PAIR-SHARE	各パートに1題、発信問題を設けました。質問の内容や進度に合わせて1人で考える THINK, 2人で話す PAIR, 複数で話す SHARE の活動を選択して行います。
③ 通読用英文	本文全体を掲載しました。通読や音読の練習に使います。	
④ Recap & Retell (内容理解)	音声を聞いて本文の内容をまとめた表を完成させたあと、自分の言葉で本文の内容を伝えるリテリングの活動を行います。	
⑤ Make It Yours! (表現活動)	本文で学んだ内容や表現を使って、スピーチ、プレゼンテーションなどの活動を行います。	
⑥ Grammar for Communication (文法)	本文に出てきた文構造・文法項目を使って、状況にふさわしい英文を完成させます。	
⑦ Vocabulary Networking (語彙)	本文に出てきた語句と関連表現をネットワークで整理します。さらに、ネットワークの語句を使って英語でストーリーを1~2文で書き、グループ内でつなげていく活動を行います。	

2. 対照表・配当授業時間数表

図書の構成・内容		学習指導要領の内容										該当箇所	配当時間
教材名	言語材料	(1) 英語の特徴やきまりに関する事項	(2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項	(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項									
				①言語活動						②言語の働き			
				ア (文字との関係)	イ (聞く)	ウ (読む)	エ (やる)	オ (知る)	カ (書く)	ア 使用場面	イ 働き		
CHAPTER 1 Follow the Voice of Your Heart	時制／基本的な文構造	ア, イ, ウ, エ	ア	ア,イ,ウ,エ,オ,カ	(ア)	(ア)	(ア)	(ア)	(ア)	(ア) 学校・職場	(イ) 望む (イ) 説明する	pp.10-23	7
CHAPTER 2 The Power of Design	接続詞／V + O + do [形容詞／分詞]	ア, イ, ウ, エ	ウ	ア,イ,ウ,エ,オ,カ	(ア)	(ア)	(ア)	(ア)	(ア)	(ア) 博物館 (イ) ガイド	(ア) 挨拶をする (イ) 説明する	pp.24-37	7
CHAPTER 3 A Cool Food: Kakigori	現在完了形, 現在完了進行形／受動態	ア, イ, ウ, エ	イ	ア,イ,ウ,エ,オ,カ	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(ア) 学校・地域 (イ) インターネット (イ) 食事	(ア) 相づちを打つ (イ) 要約する	pp.38-51	7
CHAPTER 4 OriHime — A Vehicle of Your Heart	関係代名詞 [制限用法]／過去完了形, 過去完了進行形	ア, イ, ウ, エ	ウ	ア,イ,ウ,エ,オ,カ	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(ア) 学校 (イ) プレゼンテーション	(ア) 話題を変える (イ) 例示する	pp.52-67	7
CHAPTER 5 Satoko and Nada	to 不定詞／動名詞	ア, イ, ウ, エ	ウ	ア,イ,ウ,エ,オ,カ	(ア)	(ア)	(ア)	(ア)	(ア)	(イ) 漫画 (イ) インタビュー	(イ) 賛成する (イ) 質問する	pp.68-83	7
CHAPTER 6 A Sea of Plastic	分詞の形容詞的用法／分詞構文	ア, イ, ウ, エ	イ	ア,イ,ウ,エ,オ,カ	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(ア) 地域 (イ) 雑誌	(イ) 報告する (イ) 誘う	pp.84-97	7
CHAPTER 7 Human Habitation on Mars	助動詞／関係代名詞 [非制限用法]	ア, イ, ウ, エ	ア	ア,イ,ウ,エ,オ,カ	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ) インターネット	(イ) 例示する (イ) 推論する	pp.98-111	7
CHAPTER 8 A Loving Story	関係副詞／関係代名詞 what	ア, イ, ウ, エ	ウ	ア,イ,ウ,エ,オ,カ	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ) 手紙, 裁判, スピーチ	(ア) 自己紹介する (イ) 依頼する	pp.112-125	7
CHAPTER 9 Edo, the Resilient City	仮定法過去, 仮定法過去完了／as if + 仮定法	ア, イ, ウ, エ	イ	ア,イ,ウ,エ,オ,カ	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(ア) 地域 (イ) プレゼンテーション	(イ) 仮定する (イ) 命令する	pp.126-141	7
CHAPTER 10 A Quality Education for All	動詞 + 名詞 + that 節 [wh-節 / if 節]／強調構文	ア, イ, ウ, エ	ウ	ア,イ,ウ,エ,オ,カ	(ア)	(ア)	(ア)	(ア)	(ア)	(ア) 学校, 地域 (イ) インタビュー	(イ) 要約する (イ) 強調する	pp.142-155	7
READING PASSAGE 1 The Window		ア, イ, ウ, エ	ア	ア,イ,ウ,エ,オ,カ	(ア)	(ア)	(ア)	(ア)	(ア)	(イ) 物語	(イ) 描写する (イ) 推測する	pp.156-161	3
READING PASSAGE 2 Gender Equality Is Everyone's Concern		ア, イ, ウ, エ	ア	ア,イ,ウ,エ,オ,カ	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ) スピーチ	(イ) 報告する (イ) 提案する	pp.162-169	6
Skills for Sound Production		ア	イ	ア, オ	(ア)		(ア)			(ア) 地域	(イ) 褒める	pp.170-171	1
Skills for Reading Comprehension		ア, イ	ア	ア, ウ		(ア)	(ア)		(ア)	(イ) スピーチ	(イ) 描写する	pp.172-173	1
Skills for Writing		イ	ア	ア, カ				(ア)	(ア)	(イ) インターネット	(イ) 理由を述べる	pp.174-175	1
Skills for Listening Comprehension		ア	ア	ア, イ	(ア)		(イ)			(イ) スピーチ	(イ) 注意をひく	pp.176-177	1
Skills for Speaking		ア, ウ	イ	ア, エ, オ				(ア)		(イ) 紹介	(イ) 話題を変える	pp.178-179	1
												計	84